

2017.6.19

(有) サルシイテウノロシニ
北村泰之

2表, 3表のライメントでは,
この関係から変換行列を求めよう。

観測地
恒星時
緯度

[ライメントの方法]

(基準となる星の)
赤道座標
赤経 (RA)
赤緯 (DEC)



地平座標
方位 (Az)
高度 (Alt)



直角座標
(X, Y, Z)

ライメントでは
方位, 高度のデータを求める。

経緯台



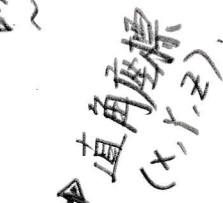
直角座標
(X', Y', Z')

方位 (Az)
高度 (Alt)

(u, v, w)

誤差分を補正

地平座標
(Az, Alt)



直角座標
(x, y, z)

数値計算
補間法,
ニュートン法による誤差近似計算

経緯台
(Az', Alt')



(x', y', z')

変換行列による座標変換

誤差分を入れこ